



# みどりひがし

感謝 自律 創造 一歩先へ 信じよう自分を 高め合おうともに

30 JUN. 2026



主体性  
協働性  
創造力



## 共に育ち合い、自ら未来を創る子どもたち

木々の緑が一段と色濃くなり、初夏のさわやかな風が心地よい季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

新学期がスタートしてから約3ヶ月が経ちました。学校では、新しい環境にも少しずつ慣れ、子どもたちの元気な声と笑顔が溢れています。今月の学校通信では、本校が大切にしている「子ども主体の学校づくり」と、その中で見られる「共に育つ子どもたちの姿」についてお伝えしたいと思います。

### 【「自ら考え、動く」子ども主体の学校づくり】

これからの予測困難な社会を生きていく子どもたちにとって、最も必要な力は「自ら課題を見つけ、考え、行動する力」です。そのため、本校では教員が一方的に知識を与えるのではなく、子どもたちが主役となるような教育活動を推進しています。

具体的には、以下のような姿勢を大切にしています。

- 「なぜ？」を大切に：子どもたちの素朴な疑問や興味を出発点にし、探究心を育みます。
- 失敗を恐れない挑戦：失敗は成長のための大切なステップと捉え、何度でもやり直せる安心感のある環境を作ります。
- 自分たちでルールを創る：行事やクラスの約束事などを、子どもたち自身の話し合いで決定していくプロセスを重視します。

「やらされる」のではなく、「自分たちで創り上げる」という当事者意識を持つことで、子どもたちの表情は見違えるほど生き生きとしてきます。

### 【違いを認め合い、共に育つ姿】

子ども主体の活動の中では、当然ながら意見の衝突や上手くいかないことも起こります。しかし、それこそが「共に育つ」ための貴重な機会です。

最近の学校生活の中でも、こんな素敵なお姿が見られます。

- 教え合い、学び合う：授業中、早く課題が終わった子が、まだ悩んでいる子に優しく寄り添い、一緒に考えようとする姿。
- 違いを尊重する：意見が対立した際、自分の主張だけでなく、相手の考えの背景にある思いに耳を傾けようとする姿。
- 役割を果たし、感謝し合う：掃除や係活動など、目立たないところでも自分の責任を果たし、「ありがとう」と声を掛け合う姿。

一人一人の個性やペースは違って当たり前です。その「違い」を豊かな彩りとして受け入れ、互いに助け合いながら成長していく姿に、私たち教職員も日々大きな感動をもらっています。

### 【ご家庭・地域の皆様へお願い】

子どもたちが主体的に学び、共に育っていくためには、学校だけでなく、ご家庭や地域の皆様の温かい見守りが不可欠です。ご家庭でも、ぜひお子様の「やってみたい」「こう思う」という気持ちに耳を傾け、その挑戦を応援していただければ幸いです。すぐに結果が出なくても、試行錯誤するプロセスそのものを一緒に楽しんでいただけたらと思います。

1学期も残りわずかとなりました。暑さが厳しい日も多くなりました。引き続き登下校の安全、熱中症対策にご協力をお願いします。

校長 打田 正明

